

シンポジウムS2-1 高気圧酸素治療における知識・技術の継承 ～次世代教育の充実化に向けて～

甲斐雄多郎 灘吉進也

社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 臨床工学科

【目的】

高気圧酸素治療（以下HBO）においては、運用の中心を臨床工学技士（以下CE）が担っており、多職種と連携し多様かつ複雑な患者に対応できる能力や安全管理を行える能力が求められる。各施設は、HBOの安全基準やCEの業務指針に準じ、独自の育成計画を企画、運用していると推測される。今回、当院のHBO教育を紹介し、次世代教育の充実化に向けて考察した。

【内容】

バディシステムとは、2人1組の教育係を編成し、互いに助け合いながら行動し、事故防止を目指したシステムである。このシステムにより、時間外勤務の短縮や情報共有など一定の成果を得ることができ、当科においては組織教育の基盤を担っている。教育評価表は、1年間を通して計画的に技術と知識の習得を目的に導入している。習熟度に対して視覚化させ、振り返りを行うためのコミュニケーションツールとして利用している。教育の進捗や問題点などの報告ツールにも繋がった。レポート制度は、育成者が学んだ内容について、理解度を図るために導入している。提出されたレポートは、指摘するツールではなく、教育内容をアップデートさせるものと位置付けている。あらかじめ教育係が模範となるレポートを作成し、その内容をもとに“狙い”のある教育を行っていることから、教育係の育成にも繋がった。ロールプレイは臨床経験の少ない育成者に対して、現場をイメージさせるために導入している。機器の操作や緊急時の対応などの想定される様々なシナリオを実施して、ビデオデブリーフィングを行うことで行動の意味やそのときの感情など様々な気づきを得ることが可能となった。ジョブローテーションは、定期的な部署異動を行うことで能力開発を目的に導入している。様々な業務を経験することで、組織全体の状況把握、業務における応用力を身につけることがで

き、他の医療スタッフとの人脈の構築にも繋がった。メンター制度は、心理的安全性の確保を目的に導入している。定期的なヒアリングにより育成者の心情の把握が可能となった。育成者が不安なく業務を遂行し風通しの良い職場環境にも繋がった。

【考察】

当院HBOは、下図のような教育体制を構築している。HBOに従事するスタッフは安全管理、感染管理、教育、運営を行う必要がある。バディシステム、教育評価表、レポート、ジョブローテーション、メンターと様々な手法を活用し、相互的な教育体制を構築している。現代社会において、教育は時代の変化に応じた柔軟な手法を日々検討し運用していくことが必要だと考えられた。

当院の教育は、主にHBOに新しく配属された者に対し1年を通して実施する計画である。1年目以降は、バディシステムに加入し先輩スタッフと組み教育係となる。その中、教育計画をアップデートさせながら反復していくことがHBOの再教育に繋がっていると考えられた。ロールプレイは、ビデオデブリーフィングを通じて多くの気づきを得ることができ、実践段階に到達可能な有効な教育手段と位置付けられた。若年世代は精神的に繊細な面も多く、現場と想像の不一致といったリアリティショックに直面するため精神面を支援していくことも肝要と考えられた。臨床現場における次世代教育は、考える力の育成を基本として、多角的な手法にて組織教育を実践していくことが必要と考えられた。

【結語】

- ①次世代教育は、「考える力」の育成を基本として多角的な手法にて教育を実践している。
- ②現代社会において、教育は時代の変化に応じた柔軟な手法を検討し運用する必要がある。当院は様々な手法を活用し、相互的に関係させた教育体制を構築している。

当院HBOの教育体制

